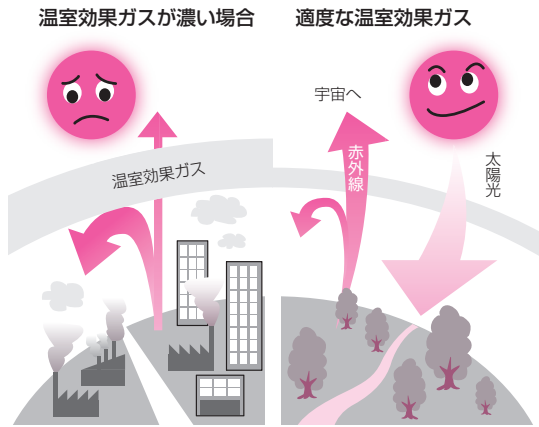


くなり、地球の平均気温が上昇しました。

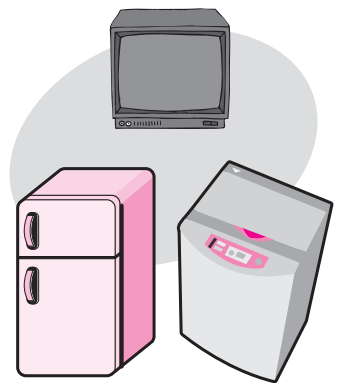
国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が発行した第4次評価報告書によると、人為的な温室効果ガスが温暖化の原因である確率は90%を超えると報告されています。地球が温暖化すると、地球全体の気候が変わり、人間の活動や生態系にさまざまな影響を与えます。



### 温室効果ガスの増加の原因は？

温室効果ガス増加の一番の原因は、二酸化炭素の排出量が多くなったことと言われています。

わたしたちは、産業を発展させ、豊かさや便利さを追求して大量の化石燃料（石炭や石油など）を消費し、



二酸化炭素を排出してきました。洗濯機や冷蔵庫などの家電製品に必要な電気の多くは、化石燃料を燃やしてつくっています。

自動車や飛行機は、化石燃料を加工した燃料がなければ動きませんし、ペットボトルやビニールなどは化石燃料を加工しているものが多くあります。

このように、現在のわたしたちの生活に化石燃料は、欠かせないものになっています。

地球温暖化問題は、環境問題であると同時に、わたしたちの日常生活や経済活動に密接に関係しています。

### 止めよう地球温暖化、目指そう低炭素社会

低炭素社会とは、温室効果ガスの排出を自然が吸収できる量以内にとどめる社会です。

低炭素社会実現のためには、企業や行政機関、消費者が、大量生産・大量消費・大量廃棄型社会を見直す意識を持ち、選択や意思決定の際に、

省エネルギーの推進や、「もったいないの考え」に即した循環型社会のための3R（※1参照）を推進するなど、環境に配慮した社会システムを形成する必要があります。

#### ※1 循環型社会のための3R

- 発生制御 (Reduce)
- 極力ごみを出さない
- 再使用 (Reuse)

どうしても出るごみは、中古品

や部品としてできるだけ再利用

- 再生利用 (Recycle)

再利用できないごみは、原材料などとして再生利用

### 環境に配慮されたサミット

サミットは、地球温暖化対策を含めた環境・気候変動が主要テーマの一つと考えられているため、サミットの準備・運営は、環境に配慮されて行われています。

各国報道関係者の拠点となる国際メディアセンターの建設は、可能な限り3Rなど、環境への配慮が行われるとともに、環境技術（太陽光パネル、雪冷房、間伐材など）が採用されています。

また、国際メディアセンターを利用し、最先端の環境技術などを含めた展示・デモンストレーション（環境ショーケース）が行われます。

環境ショーケースでは、燃料電池や太陽光発電、炭素繊維、水処理な

どの最先端技術の紹介が行われる予定のほか、次世代自動車（燃料電池自動車、電気自動車など）の試乗スペースや、エネルギー・環境に関する先端技術を備えたモデルハウスが設置される予定です。

### 始めよう、環境に優しい生活

サミットの主要テーマの一つである地球温暖化などの環境・気候変動は、わたしたちの未来に大きな影響を与える問題です。

わたしたちが、ごみを減らすことや省エネルギーなどに取り組むことは、地球温暖化の防止につながります。

サミットの開催を契機として生活様式を見直し、環境に優しい生活を始めましょう。

今月号に折り込みました、『1人1日に10% (1.1kg) のCO<sub>2</sub>を減らすための行動メニュー』を参考にしてください。

